

令和3年12月

富山市議会定例会

市長提案理由説明要旨

令和3年12月定例市議会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

去る11月10日に召集された第206回特別国会において、岸田文雄自民党総裁が第101代内閣総理大臣に指名され、同日、第2次岸田内閣が発足いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、経済政策、外交・安全保障など、我が国が抱える課題は山積しておりますが、新内閣には、国民の生命と健康を守り、活力ある経済と日常生活を取り戻すため、岸田総理の強いリーダーシップのもと、スピード感をもって、着実に政策を実行されますことを期待しております。

加えて、地方は、人口減少や超高齢社会、過疎化などの課題に直面しております。国におかれましては、住民に最も身近な基礎自治体の声に丁寧に耳を傾け、ポストコロナ・ウィズコロナを見据えた地方創生の取り組みを積極的に推進していただきますようお願いいたします。

次に、新型コロナウイルス感染症について申し上げます。

我が国の新規感染者数は、9月初め頃から急速に減少し、本県にお

きましても、10月4日に県の警戒レベルが「ステージ1」に引き下げられ、新規感染者数がゼロとなる日が続くなど、落ち着いた状況が継続しております。

これまで、外出自粛や感染防止対策の徹底にご協力をいただきました市民の皆様や事業者の皆様、そして、新型コロナウイルスワクチン接種など、日々献身的にご尽力いただいております医療従事者の皆様に、改めて心から感謝申し上げます。

一方、感染者数の減少に伴う安心感や、制限の緩和などにより、人と人との接触機会が増えることで、「第6波」といわれる感染症の再拡大が懸念されております。

ご自身はもちろん、大切な人の命を守るため、「うつさない」「うつらない」行動を徹底するなど、引き続き、感染防止対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

(来年度予算編成について)

次に、来年度予算編成について申し上げます。

令和4年度予算については、歳入では、個人市民税において、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、給与所得・営業所得等が落ち込むことや、法人市民税において、法人税割の税率変更の影響を受ける

ことにより、市税全体では、新型コロナウイルス感染症発生前の水準には及ばないものと見込んでおります。

また、地方交付税については、国の概算要求では本年度と同程度の要求となっていることなどから、市税等を合わせた一般財源総額についても、伸びが期待できないものと考えております。

これに対して、歳出では、人件費や公債費、扶助費といった義務的経費がいずれも増加することが見込まれます。

加えて、令和4年度からスタートする第2次総合計画後期基本計画をはじめ、各種計画に位置づけた事業を着実に進める必要があること、さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動を両立するための対策が求められるなど、大きな財政需要が見込まれます。

このため、令和4年度は、本年度に引き続き、極めて厳しい財政状況となることが予想されますが、ポストコロナを見据え、スマートシティやゼロカーボンシティの実現など、私が選挙時に掲げた公約の実現に向けた取り組みを本格化させていきたいと考えております。

このことから、令和4年度予算においては、予算要求の上限額を設定しない「幸せ日本一とやま実現特別枠」を設け、公約の実現に資する新規・拡充事業に対して、重点的に予算配分を行ってまいりたいと

考えております。

なお、税収の伸びが見込めない、厳しい財政状況の下、新規・拡充事業を実施するための財源につきましては、聖域なき歳出の見直しにより捻出してまいります。

具体的には、新規・拡充事業の要求に当たっては、スクラップ・アンド・ビルドの考えを徹底すること、また、例年設定している政策的経費の予算要求基準について、総合計画に係る事業については、マイナス 10 パーセントのシーリングを維持する一方、総合計画以外の事業については、従来のマイナス 20 パーセントから 25 パーセントに引き上げることとしております。

このように、既存事業をゼロベースで見直し、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めることで、財政の健全性を堅持しながらも、本市が未来に向かって大きく発展し、多くの市民の皆様が幸せ日本一とやまを実感できる予算となるよう、取り組んでまいりたいと考えております。

なお、国においては、大型の経済対策がとりまとめられ、年内のできるだけ早期に補正予算を成立させるとされていることから、本市といたしましてもしっかりとこれに呼応するよう、国の動向を注視してまいります。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、私が市長選挙で掲げた公約に関するものや、新型コロナウイルス感染症に関連する経費などの補正を行うものであり、一般会計では、38億3,200万余円を追加するものであります。また、国民健康保険事業などの特別会計では、2億7,600万余円、企業会計である公共下水道事業会計では700万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(①選挙公約に関するもの)

まず、選挙公約に関連する経費につきましては、選挙時に掲げた政策テーマ別に申し上げますと、まず、「生き生きひとづくり日本一とやま」では、学校環境づくりとして、水橋地区統合校の整備事業に要する経費など、スポーツの推進として、NIXSストリートスポーツパークをPRするための経費、また、「市民の命と安全、生活を守り

ぬく」では、避難所などの防災拠点において、新型コロナウイルス感染症防止用の備蓄物資を整備するための経費、「安全・安心まちづくり日本一とやま」では、市民が安心して利用できる地域の中心的な複合施設の整備として、八尾行政サービスセンター及び細入中核型地区センターの移転改修に要する経費を計上しております。

#### (②新型コロナウイルス感染症に関するもの)

次に、新型コロナウイルス感染症に関連する経費につきましては、3回目のワクチン接種に要する経費や、PCR検査数の増加に対応するための経費、市民・企業の皆様からのご寄附を「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積み立てる経費などを計上しております。

#### (③その他の事業)

その他の事業といたしましては、ふるさと納税の寄附金額の増加に対応するための事務費及び基金積立金、生活保護事業費、放課後等デイサービス事業費などの対象者数増加に伴う扶助費、申請件数の増加に対応するための燃料電池自動車導入補助金などを計上しております。

#### (④特別会計)

特別会計では、「国民健康保険事業特別会計」において、窓口混雑解消のための改修に要する経費、「企業団地造成事業特別会計」において、土地売払収入を減債基金に積み立てるための一般会計繰出金などを計上しております。

#### (⑤企業会計)

企業会計については、「公共下水道事業会計」において、国からの交付金を返還するための経費を計上しております。

#### (⑥人件費)

また、人件費については、一般会計及び特別会計において、所要の補正を行うものであります。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源としては、一般会計では、市税や、事業に伴う国・県支出金、地方債及び繰越金などを充てております。

なお、市税について、本年度当初予算においては、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、前年度比で大幅な減収を見込んでおりましたが、その減収幅が想定より小さく、現時点では、本年度の市税全体の収入見込みは、当初予算を上回るものと見込んでおり、今回の補



正でその一部を充てることとしております。

特別会計・企業会計では、財産収入や一般会計からの繰入金などを充てております。

次に、継続費及び債務負担行為について申し上げます。

まず、継続費については、一般会計において、橋りょう維持補修事業費の変更を行うものであります。

債務負担行為については、一般会計及び水道事業会計において、公共事業の円滑かつ効率的な執行を図り、事業の平準化を推進するため、令和4年度施工予定工事を前倒し発注するための限度額を設定するものなどであります。

## (2 その他の案件)

次に、予算以外の案件については、「富山市立学校設置条例の一部を改正する条例」を制定するものなど12件であります。

契約案件については、「富山市科学博物館プラネタリウム更新業務委託契約締結の件」など3件であります。

その他の案件については、「第2次富山市総合計画後期基本計画策定の件」など7件であります。

承認案件については、中規模ホール整備に伴う汚染土処理費に係る一般会計補正予算の専決処分について承認を求める件、1件であります。

報告案件については、「工事請負変更契約締結の件」などの専決処分について報告するもの3件であります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。